

お盆期間の実績からみる航空業界の動向

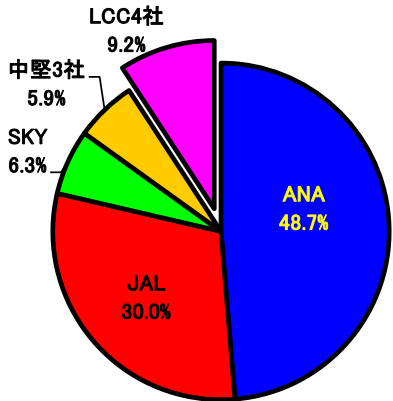
2016年8月22日

各社が発表したお盆期間（夏季繁忙期間；8/10～21日）の旅客実績をもとに、日本の航空業界の至近の動向を概観してみた。

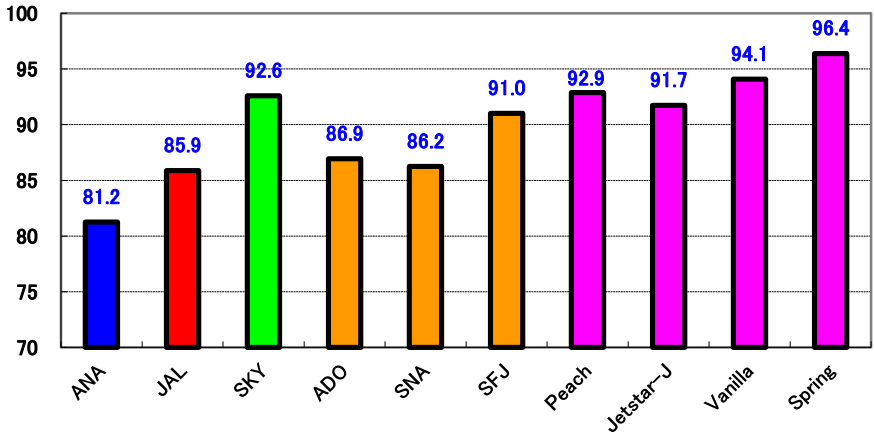
1. 国内線の動向

- ① 旅客数；総旅客数は400万人で、前年に比べて18万人（+5%）増加。
LCCは、資源を国際線拡大に振り向けたこともあって、国内線は旅客減となった。大手2社は、席数を僅かながら絞ったが、旅客数は+5%増で、搭乗率は向上した。SKYと中堅3社も旅客増となった。

- ② 旅客シェア；LCCのシェアが低下した。
（前）10.3 ⇒9.2%
JALのシェアは30%、ANAとの格差は拡大してその差は▲19ポイントとなった。

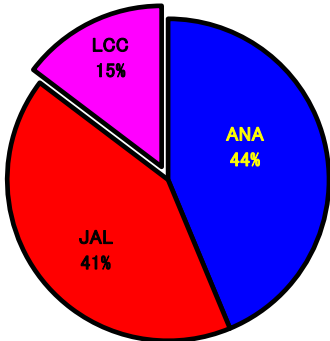


- ③ 搭乗率；LCCとSKYは90%超レベル、JALと中堅3社80%台後半、ANAは81%。

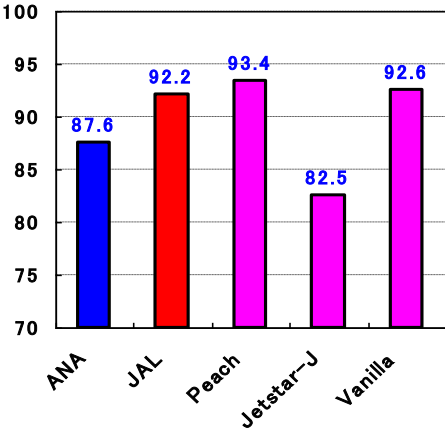


2. 国際線の動向

- ① 旅客数；総旅客数は80万人で、前年に比べて7万人（+10%）増加。
うち大手2社が3万人、LCCが4万人（前年比1.5倍）
- ② 旅客シェア；LCCのシェアは（前）11% ⇒15%と大きく上昇。
JALのシェアはが▲3.4ポイント低下して41.5%に。



- ③ 搭乗率；全社高レベルながら、
大手ではANAよりJALが高く、
LCCではJetstar-Jが比較的に低めだった。



《 2016年夏季繁忙間の旅客実績 》

	座席数				旅客数				搭乗率			旅客シェア
	前年	当年	差	率	前年	当年	差	率	前年	当年	差	当年
(国内線)	千席	千席	千席	%	千人	千人	千人	%	%	%	ポイント	%
ANA	2,405	2,393	-12	100	1,845	1,945	100	105	76.7	81.2	4.5	48.7
JAL	1,410	1,394	-16	99	1,137	1,197	60	105	80.7	85.9	5.2	30.0
SKY	259	272	12	105	231	251	21	109	89.1	92.6	3.5	6.3
ADO	97	108	11	111	79	94	15	119	81.1	86.9	5.8	2.3
SNA	89	94	5	106	77	81	4	105	87.1	86.2	-0.8	2.0
SFJ	65	66	1	102	54	60	6	111	83.1	91.0	7.9	1.5
中堅3社	251	268	17	107	210	235	25	112	83.7	87.7	4.0	5.9
Peach	128	134	6	105	119	124	5	104	93.5	92.9	-0.6	3.1
Jetstar-J	228	200	-28	88	207	183	-24	88	90.9	91.7	0.8	4.6
Vanilla	52	48	-4	92	48	45	-3	93	92.4	94.1	1.6	1.1
Spring	20	16	-5	78	18	15	-2	86	86.7	96.4	9.6	0.4
LCC4社	428	397	-31	93	392	368	-25	94	91.7	92.6	0.9	9.2
国内線計	4,754	4,724	-30	99	3,816	3,996	180	105	80.3	84.6	4.3	
(国際線)												
ANA	364	398	34	109	320	348	28	109	87.8	87.6	-0.2	43.7
JAL	359	359	0	100	325	331	6	102	90.5	92.2	1.7	41.5
Peach	53	71	18	134	48	66	19	139	90.1	93.4	3.4	8.3
Jetstar-J	6	18	13	319	6	15	10	272	96.8	82.5	-14.3	1.9
Vanilla	26	39	13	150	24	36	12	149	93.0	92.6	-0.4	4.5
LCC3社	85	128	44	151	77	117	40	152	91.4	91.6	0.2	14.7
国際線計	808	885	77	110	722	797	75	110	89.4	90.0	0.7	

以上